

授業科目 医療安全と災害看護（１） 医療安全	区分・教育内容 統合分野 看護の統合と実践		
授業担当者 谷村 淳子（中通総合病院） 齊藤 由美子（中通総合病院）	開講時期 中期	単位 1 単位	時間数 14 時間／30 時間
授業の目的 医療の現場に潜む危険を認識し、回避する方策と患者安全上すべき事を理解し、医療従事者として患者および自らの安全を守る事の重要性を学ぶ。			
授業の目標 1. 医療安全の重要性を理解する。 2. 医療の中の危険と回避のシステムを知る。 3. 医療従事者として安全を守るために“すべき事”と“してはならない”事を理解する。			
授業概要 看護師は医療サービスの最終行為者となることが多く、医療サービス提供の場である病院では様々な危険が存在する。医療事故防止は、組織的な安全のためのシステム作りと看護師が危険を予知し、安全のための対策を実施することが重要である。 リスクマネジメントは、医療事故の未然防止・再発防止、苦情の防止、医療訴訟対応といった連続的な関わりに対して取り組まれるものであり、その目的は人権の尊重と医療の質の確保と質の向上である。日本の医療安全対策の動向や過去の医療事故など具体的事例をもとに参加型授業形式とする。			
授業計画(進め方) 1 回目 医療安全と看護の理念、看護学生の実習と安全 2 回目 医療安全への取り組みと医療の質の評価 3 回目 事故発生メカニズムとリスクマネジメント 4 回目 患者・家族との協同と安全文化の醸成 5 回目 看護（在宅）における医療事故と安全対策 6 回目 医療事故後の対応 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策① （医療機器の使用に関わるもの・医薬品への暴露・患者、同僚および第三者による暴力） 7 回目 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策② （感染の危険を伴う病原体への曝露とその予防策）			
テキスト ナーシンググラフィカ 医療安全 メディカ出版 新体系看護学全書 看護の統合と実践① 看護実践マネジメント 医療安全 メヂカルフレンド社			
参考書・指定図書			
成績評価の方法 授業への参加態度と筆記試験 医療安全と災害看護 100 点満点中の 40 点			

授業科目 医療安全と災害看護 (2) 災害看護	区分・教育内容 統合分野 看護の統合と実践		
授業担当者 黒澤 美奈 (専任教員)	開講時期 前期	単位 1 単位	時間数 16 時間 / 30 時間
授業の目的 災害が人々の健康や生活に影響を及ぼすことを理解し、災害サイクルにおける被災者の健康や生活のニーズに応じた看護の役割について学ぶ。 授業の目標 1. 災害および災害看護に関する基礎的知識を理解する。 2. 災害が人々の健康や生活に及ぼす影響を理解する。 3. 災害サイクルにおける看護支援活動を理解する。 4. こころのケア・トリアージについて体験的に理解する。			
授業概要 災害が社会の変化や地域の人々の暮らしと密接に関係しながら、人々の健康や生活に影響することを理解し、災害サイクルにおける被災者の健康や生活のニーズに応じた看護の役割について学ぶ。 授業計画(進め方) 1 回目 災害および災害看護に関する基礎的知識 ・災害・災害看護の歴史、定義 ・災害サイクル、災害の種類と災害種類別の健康障害の特徴 ・災害に関する制度、個人の備え、地域防災 2 回目 災害が人々の健康や生活に及ぼす影響 ・災害時の地域アセスメント 3 回目 災害時における被災者の心理的反応の変化と救護者の心のケア 4 回目 災害時に看護が果たす役割、災害サイクルにおける看護支援活動 ・災害看護の基本的な考え方と看護の役割 5 回目 ・トリアージ 6・7 回目 【演習】・搬送法およびトリアージの実際 8 回目 ・秋田市防災訓練への参加 防災訓練が中止の場合は、学内で演習を行う			
テキスト 系統看護学講座 統合 災害看護学・国際看護学 医学書院			
参考書・指定図書 小原真理子 酒井明子監修 災害看護 心得ておきたい基本的な知識 南山堂 由井りょう子 石巻赤十字病院の 100 日間 小学館 日本看護協会出版会編集部 ナース発 東日本大震災レポート 日本看護協会出版会			
評価の方法 医療安全と災害看護 100 点満点中の 60 点 筆記試験 50 点 レポート 10 点			